



今年も素敵に開催されました。 縄文手ぬぐいコンテスト 2024

染谷商会 × 北海道文化服装専門学校

昨年からはまった(株)染谷商会(染谷有香社長=道民会議会員)が企画・実施しているコンテスト。今年も北海道文化服装専門学校の皆さんから、想像力あふれ心が躍るような作品がたくさん寄せられました。6月12日に今年の審査結果が発表されました。

最優秀賞に輝いたのは、齋藤珠羽さんの「ウズマキトリサキ」(森町で出土のトリサキ土偶がモチーフ)。水野染工場(旭川市)で染められ、7月上旬には商品化・販売が開始されます。

入賞された皆さん、おめでとうございます。

最優秀賞 齋藤珠羽さん「ウズマキトリサキ」

優秀賞 藤井ももさん

審査員賞 深澤心さん



最優秀賞: 1年 齋藤 珠羽さん
くウズマキトリサキ

トリサキ土偶を見たときに体のうずまき模様や何の動物なのかわからない点から不思議なイメージを持ち、印象に残ったのでデザインのモチーフにしました。

ポイントはトリサキ土偶の体をくねらせて、よりぐるぐる・ぐにやぐにや感を出したところや色を渋めの紫にして不思議な雰囲気になるようにしたところです。

飾る・包むどちらでもかわいく使用できると思います。

縄文ロマンの里「に～よんフェス」が開催されました。

札幌市北区の北24条商店街は、世界遺産登録の前から「縄文」をテーマに元気なマチづくりを進めています。3回目を迎えた「に～よんフェス」が、4月27日(土)に札幌サンブラザで開催されました。

商店街メンバーによる縄文グッズや、くみや栗を使ったスイーツやパン、オリジナルラベルの焼酎など、縄文色たっぷりの商品が並びました。

また、縄文クリエイター「ドニワ部」「いるば28」、「札幌国際大学縄文世界遺産研究室」「安部郁乃」さんも参加。今年も大いに盛り上がりました。



縄文トーク第1部は、ドニワ部種田梓さんによる、著書「北の縄文さんぽ」製作こぼれ話。満席でした!

第2部は、昨年に続き北大留学生等と道民会議の「縄文沼の女神」による対談。今年はフィンランド出身のユリアナさんをお招きし、「日本の縄文時代～フィンランドでは?」が展開されました。土器や土偶、神聖なものには「赤」が用いられるなど、興味深い共通点に驚きました。



7/15はサッポロファクトリーへGO!

道庁主催「世界遺産登録3周年記念フェスタ」(P6参照)には、道民会議も参加します。

13時30分からのアトリウムステージ【土偶女子・譽田亜紀子とエビおじさんの『遺跡へ行こう!』】に注目!東京支部・譽田さんと、戎谷侑男常務理事の痛快トークを行います。また、「ナチュの森で縄文にであう展」とのコラボブースも展開。ぜひお立ち寄りください。

「縄文世界遺産登録3周年記念フェスタ」開催決定！



「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録されてから3周年を迎えます。

そこで、世界遺産登録3周年を記念して、「縄文世界遺産登録3周年記念フェスタ」を開催することといたしました。

世界遺産としての価値や魅力を伝えるトークやステージイベント、体験プログラムのほか食やグッズの販売等を行います。

○開催日時:令和6年7月15日(月・祝)午前10時00分～午後5時00分まで

○場所:サッポロファクトリー アトリウム及び煙突広場 (札幌市中央区北2条東4丁目)

○主催:縄文遺跡群世界遺産本部、

世界遺産・縄文遺跡群の保存と活用を推進する北海道議会議員連盟、北海道



【ステージプログラム】

講演や、「トーク×音楽ダンスLIVE」、縄文世界遺産トークショーなど盛りだくさん！

【竪穴住居を作ろう】

現代版竪穴住居と道産木材の竪穴住居をみんなで作って、中に入ってみよう！

【縄文スタンプラリー】

出題される5つのクイズに答えて、うれしいグッズをゲットしよう！

【PRブース・グッズ販売】

世界遺産構成市町のPRや、縄文グッズを販売。お気に入りのグッズを探そう！

【縄文グルメキッチンカー】

縄文時代に食べられていると考えられている食材を使ったグルメを販売！

登録記念日(7月27日)には！

「縄文世界遺産 登録3周年記念フェスタ In 大通 BISSÉ」を開催！縄文世界遺産を紹介する展示のほか、縄文について専門家とお話する機会もあります。たくさん聞いて、たくさん学ぼう！

「北の縄文」価値継承絵本「じよもるん、じょうもんへ」完成！

北海道の縄文遺跡群の価値を継承するため、道が作成した絵本「じよもるん、じょうもんへ」が完成しました。

北海道の森でくらす妖精「じよもるん」が、天の声に導かれて1万年前の北海道のくらし「縄文」を学ぶためにタイムスリップするお話です。そこで、それぞれのステージでの生活を体験し、自然とともに生きていくことの大切さを知るじよもるん。

この絵本を通じて、自分たちが生まれ育った地域に、世界遺産に登録されるほどの優れた文化があることを知ってもらい、郷土を誇りに思う気持ちが生まれ、世界遺産を活用したまちづくりの原動力につなげて欲しい、そんな思いを込めて作成した「じよもるん、じょうもんへ」。

7月15日のイベントでは、完成披露会・読み聞かせ会を行います。

参加者には、絵本をプレゼント！ぜひ、お手にとってご覧ください。



世界遺産登録3周年記念キャラクターとして、じよもるんがロゴになりました。

このロゴを使用して、一緒に「北海道・北東北の縄文遺跡群」を盛り上げませんか？

(お問い合わせ先: 縄文世界遺産推進室 TEL011-204-5168)

世界遺産登録3周年
3rd
北海道・北東北の縄文遺跡群

登録

縄文世界遺産
3周年記念
フェスタ

Have a Nice JOMON Day!!

入場無料

2024年
日時 7月15日(月・祝)
10:00~17:00

場所 サッポロファクトリー
アトリウム及び埋突広場
札幌市中央区北2条東4丁目1-2

ステージプログラム atアトリウム

『湖池屋プライドポテ 日本の神業 縄文香る帆立だし』発表会
講演 「世界遺産と縄文遺跡群」
いっしょに踊ろう! トーク×音楽ダンスLIVE
縄文絵本 完成記念トークショー
縄文世界遺産トークショー「ほか」
他にも盛りだくさんのプログラム!

巨大竪穴住居をつくらう!
木製竪穴住居をつくらう!
じもるん縄文クイズラリー
縄文世界遺産市町PRブース

同日開催!
第14回とうや・胡縄文まつり
7月14日(日) 縄文講演会
13:30~16:00 入江・高砂貝塚
7月15日(月・祝) 縄文のモノ作りやゲーム
10:00~14:00 入江貝塚公園

縄文グッズ販売
縄文グルメキッチンカー at 埋突広場

「北海道・北東北の縄文遺跡群」とは?

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、1万年以上にわたって採集・遊労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える貴重な文化遺産です。その価値が認められ、2021年7月、ユネスコ世界文化遺産に登録されました。北海道には、磯成資産の埴ノ島遺跡、大船遺跡(由緒市)、キウス岡遺跡(千歳市)、北黄金貝塚(伊達市)、入江貝塚、高砂貝塚(洞爺湖町)、開道資産の蟹ノ木遺跡(帯広)があります。

「じもるん」とは?
天の川に架かる、1万年前の北海道の縄文の暮らしをテーマとして創られたキャラクターです。このキャラクターを通じて、北海道の縄文文化を広く知ってもらい、縄文世界遺産登録3周年の機会に、北海道の縄文世界遺産を楽しく学ぶためのイベントを開催します!

ステージプログラム atアトリウム

湖池屋×縄文世界遺産コラボ商品
『湖池屋プライドポテ 日本の神業 縄文香る帆立だし』発表会
講演 「世界遺産と縄文遺跡群」
北海道縄文世界遺産推進室特別研究員 阿部千香

いっしょに踊ろう!
トーク×音楽ダンスLIVE
藤本 明倫さん
札幌市立音楽学校 音楽科 教諭
2020年度文化芸術功労賞

縄文絵本
完成記念トークショー
アナウンサーの経験により話題! 結果発表など結果発表に合わせた方々によるトークショーも同時開催いたします。

縄文世界遺産トークショー「ほか」
他にも盛りだくさんのプログラム!
詳細とタイムスケジュールはこちらをチェック!

巨大竪穴住居をつくらう!
アトリウム参加無料
アーキスト高田昌雄さんと一緒にスタンプやスタンプシールを使って縄文竪穴住居をつくらう。
どんな竪穴住居ができたかな?

木製竪穴住居をつくらう!
埋突広場参加無料
建築木材でできた縄文住居をみんなで作って中に入ってみよう!

じもるん縄文クイズラリー
サッポロファクトリー内の5つのスポットで、じもるんがクイズを出題! 参加してうれしいグッズをゲットしよう!

食べてタイムスリップ!
縄文グルメキッチンカー at 埋突広場

縄文グッズ販売
縄文世界遺産市町PRブース

主催 縄文遺跡群世界遺産本部
世界文化遺産・縄文遺跡群の保存と活用を推進する北海道議会議員連盟
北海道環境生活部縄文世界遺産推進室

お問い合わせ先
北海道環境生活部縄文世界遺産推進室
〒060-8588 北海道札幌市中央区南5条西6丁目
TEL:011-204-5148 FAX:011-232-8495
E-mail:kanen_bunka@pref.hokkaido.jp

北の縄文

道庁(胆振総合振興局)からのお知らせ

「いぶり縄文スタンプラリー」開催中!

イランカラプテ。北海道胆振総合振興局です。

当振興局では、管内の縄文遺跡群の魅力を発信することを目的に縄文関連展示施設を周遊するスタンプラリーを企画しました。

全てのスタンプを集めるともらえる景品(抽選)や北黄金貝塚情報センター及び入江・高砂貝塚館のスタンプを集めると現地でももらえる景品(先着順)を用意しています。

スタンプ帳(対象施設で配布)には、対象地域の縄文遺跡等の情報が満載。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

詳しい内容は、振興局のホームページをご覧ください。

○開催期間:令和6年7月1日(月)~11月30日(土)

○対象施設:旧絵鞆小学校(室蘭市)

のぼりべつ文化交流館カント・レラ(登別市)

北黄金貝塚情報センター(伊達市)

入江・高砂貝塚館(洞爺湖町)

※各施設の開館日等の情報はホームページなどご確認ください。

西胆振の遺跡をめぐって縄文について学ぼう!

いぶり縄文スタンプラリー
しあわせもろ

期間 2024年7月1日(月)~11月30日(土)

北黄金貝塚情報センター(伊達市北黄金貝塚公園)
入江・高砂貝塚館(洞爺湖町高砂4丁目)

旧絵鞆小学校(室蘭市南2条7丁目7-30)
のぼりべつ文化交流館カント・レラ(登別市登別12丁目)

※各施設の開館日等の情報はホームページでご確認ください!

- 対象施設(4ヶ所)を回ってスタンプをGETしよう!
- 北黄金貝塚情報センター・入江・高砂貝塚館の2ヶ所のスタンプを集めると先着で「世界遺産」のオリジナルステッカーがもらえるよ!
- 北黄金貝塚情報センターまたは入江・高砂貝塚館の施設の方にスタンプを見せてね。
- 4ヶ所全て回ってスタンプを集めたら裏面の応募フォームから「いぶり縄文スタンプ」の応募をしよう! (お1人様1回限り)



振興局HP

札幌国際大学 縄文世界遺産研究室 渡井 瞳さん



札幌国際大学縄文世界遺産研究室は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録とその後の活動を応援するとともに、情報を発信する開けた学びの場として、2016年4月に開設されました。室長と学芸事務員の2名が職員として、また、本学の教員数名が研究員として在籍しています。

研究室では、「縄文文化ってなに？」から「縄文文化って面白い。もっと知りたい！」につながっていくような活動を目指して、本学での講演会や展覧会、舞踊と縄文太鼓・ピアノを融合させた縄文芸術祭の開催、縄文遺跡を活用した地域イベントなどに、研究室ボランティアである「縄文世界遺産応援協力隊員」の皆さんとともに協力しています。



「縄文世界遺産応援協力隊員」の字面は堅苦しいですが、縄文遺跡群の活動を応援したいと思っている人、「縄文文化ってなんだらう」と素朴な疑問をもっている人、「ちょっと興味あるかも」と感じている人など、本学の学生や卒業生、社会人有志の方々によって構成されています。隊員の主な活動は展示物の貼り換えやイベントでのお手伝いですが、自分の得意分野を活かしてポスターを製作したり、オリジナルキャラクターを誕生させたり、外国人観光客に英語で解説をする方もいます。研究室の活動を支える頼もしいサポーターたちです。

さて、研究室ではこれまで、縄文遺跡群の構成資産だけではなく、北海道の特色ある縄文文化として礼文島、十勝、札幌、釧路、石狩川流域の縄文文化や、環状列石、周堤墓などを紹介してきました。世界遺産の

遺跡もさることながら、北海道には魅力的な遺跡がたくさんあります。

「自分の地元には何も無い…」と呟く方がいますが、「そんなことはないですよ～！面白い遺跡、いっぱいあり～す！」と、声を大にして言いたいところを、展覧会という形で紹介してきました。

また、地域の遺跡を盛り上げるために活動している方々に焦点を当て、どのような取り組みを行っているのかなどを広く知ってもらうことを目的に、パネルディスカッションを開催しました。道内各地には様々な市民団体がおり、遺跡を活かした縄文まつりやガイド活動、会員同士の交流や勉強会、体験学習サポートや土器焼き、発掘調査への参加など、現在でも精力的に活動を続けています。地域の遺跡を訪問する際には、遺跡を守り活かすために活動している方々の存在を感じていただければと思います。

このほか、講演会講師や体験学習指導、YouTubeやラジオへの出演、ツアーガイドや教材づくりなど、地域の方々と連携しながら様々な活動に協力しています。

研究室はたくさんの縄文ファンに支えられながら、少数精鋭で活動しています。縄文はロマンも謎もいっぱいですが、まだまだわからないこと、これからわかりそうなことがたくさんあります。私も日々縄文を学びながら魅力発信に努めています。小さな活動ではありますが、これからも温かく見守っていただければ幸いです。



イベントでの学生スタッフの解説風景



北の縄文道民会議
Hokkaido Jomon Culture Promotion Council



編集後記

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。このたび『北の縄文』32号をお届けしました。当会議副代表・北海道経済連合会会長 藤井裕様からご寄稿いただき、お礼を申し上げます。

「オーギィー・オーギィー・オーギィー・キギギギ」。5月中旬、野幌森林公園でエゾハルゼミの鳴く声に、初夏を見つけました。縄文人は、春は山菜や貝類、夏は魚類など、季節の移ろいとともに次の恵みがやってくることを熟知し、1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟を実践し続け、定住した人びとです。「北海道・北東北の縄文遺跡群」はその人びとの生活と精神文化を今に伝える貴重な世界文化遺産です。

来る7月15日に『登録3周年記念フェスタ』が開催されます。「サッポロファクトリー」に全員集合し盛り上げまSHOW!!

編集局一同、縄文パワー全開で、皆さまにご愛読いただける会報の編集に努めて参ります。

編集・発行：世界文化遺産登録の縄文遺跡群と全北海道の縄文遺跡群の活用を推進する道民会議（北の縄文道民会議）

編集 谷 紘道、北海道縄文世界遺産推進室

TEL：011-221-1122 FAX：011-221-0117 <http://www.jomon-do.org/> E-mail ebisutani@chuo-bus.co.jp